ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

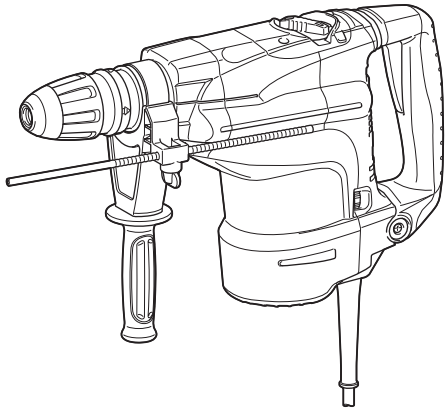
makita

取扱説明書

ハンマドリル

45mm モデル HR4511C

SDSマックス シャンク



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。
マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは**ハンマドリル**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

目次

・主要機能 ---- 3
・安全上のご注意 ---- 4
・ハンマドリル安全上のご注意 ---- 10
・各部の名称および標準付属品 ---- 12
・別販売品のご紹介 ---- 13
・使い方 ---- 18
  ・ビットの取り付け・取りはずし方 ---- 18
  ・チェンジレバーの操作 ---- 19
  ・ビットの角度の決め方（ハツリ・破砕をする場合） ---- 20
  ・サイドグリップについて（穴あけ、ハツリ・破砕作業兼用） ---- 21
  ・サイドハンドル（別販売品）について（ハツリ・破砕作業用） ---- 21
  ・スイッチの操作 ---- 22
  ・回転数・打撃数調整ダイヤルの操作 ---- 22
  ・穴あけ方法 ---- 23
  ・トルクリミッタについて ---- 23
  ・ストッパポールの使い方 ---- 24
  ・ハツリ・破砕方法 ---- 24
・保守・点検について ---- 25
  ・表示ランプについて ---- 25
  ・グリスの交換 ---- 26
  ・本製品のお手入れ ---- 26
  ・ご修理の際は ---- 26

主要機能

主要機能 ＼ モデル		HR4511C
電動機		直巻整流子電動機
電圧		単相交流 100 V
電流		15 A
周波数		50-60 Hz
消費電力		1,350 W
最大穿孔能力		コンクリート 超硬ドリル：45 mm、 コアビット：125 mm
打撃回数		1,250 ～ 2,750 min^{-1}（回 / 分）
回転数		130 ～ 280 min^{-1}（回転 / 分）
本製品寸法		長さ 458 mm ×幅 136 mm ×高さ 288 mm
質量		8.6 kg（サイドハンドルを除く）
振動 3 軸合成値	ハンマドリルモード	7.5 m/s^2
	ハンマモード	7.5 m/s^2

- 振動 3 軸合成値は、EN60745-2-6 規格に基づき測定。
- 振動 3 軸合成値についての詳細は JEMA［(社) 日本電機工業会］ウェブサイト：(http://www.jema-net.or.jp/Jnaepsae/pis/powertool.html) をご参照ください。
- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

安全上のご注意

JPA001-37

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

⚠警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
・ 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
・ 感電する恐れがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
・ 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
6. アース（接地）付きプラグやアース線がある場合、アース線をガス管に接続しないでください。
・ 発火や爆発の原因になります。
7. 電動工具を湿った場所で使用することが避けられない場合、漏電しゃ断器によって保護された電源を使用してください。
8. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
・ 表示を超える電圧で使用すると、モータの回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

⚠警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、電動工具を使用しないでください。
- 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは電動工具を使用しないでください。
- 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

2. 安全保護具を使用してください。
- 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴･ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。

3. 不意な始動は避けてください。
- 電源プラグを電源コンセントに挿し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。

4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
- 本製品に収納場所がある場合は､決められた位置にしっかり固定してください。

5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

6. きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- 屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
- 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

8. 電動工具を使い慣れていても、安全性に注意して作業してください。
- 不注意な行動は、重大な障害を引き起こすおそれがあります。

電動工具の使用および手入れ

1. 電動工具は能力に合った作業に使用してください。
- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。

2. スイッチに異常がないか点検してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠警告

3. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 本製品の調整
- 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
- 保管、または修理
- 電動工具から離れるとき
- その他危険が予想される作業

4. 使用しない電動工具は、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
- 電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。

5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
- 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
- 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
- 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。

8. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
- 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。

9. ハンドルおよび保持面にオイルまたはグリスを付着させず、きれいな状態で乾燥させておいてください。
- ハンドルまたは保持面が滑ると、電動工具の安全な取り扱いまたは制御を妨げるおそれがあります。

10. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

11. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
- 理解せずに使用することは危険です。

12. 子供や本製品の操作を理解していない方には使用させないでください。
- けがの原因になります。

13. 必要に応じ、定格感度電流が 30 mA 以下の漏電しゃ断器を使用してください。

⚠警告

整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。

- 本製品を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
- 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
- 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
- アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

  ＜異常・故障例＞
  - 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
  - 電源コードに深いキズや変形がある。
  - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
  - 焦げくさい臭いがする。
  - ビリビリと電気を感じる。
- スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。

- 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（材料を動かして加工する製品を除く。）

4. 電源プラグにぬれた手で触れないでください。

- 感電の恐れがあります。

⚠警告

5. 使用できる延長コードの太さ（導体公称断面積）と最大長さの目安

- 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
- 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

コードの太さ（導体公称断面積）	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～5 A	5～10 A	10～15 A
2.0 mm^2	50 m	30 m	20 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

ハンマドリル安全上のご注意

JPB010-18

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、ハンマドリルとして、さらに次の注意事項を守ってください。

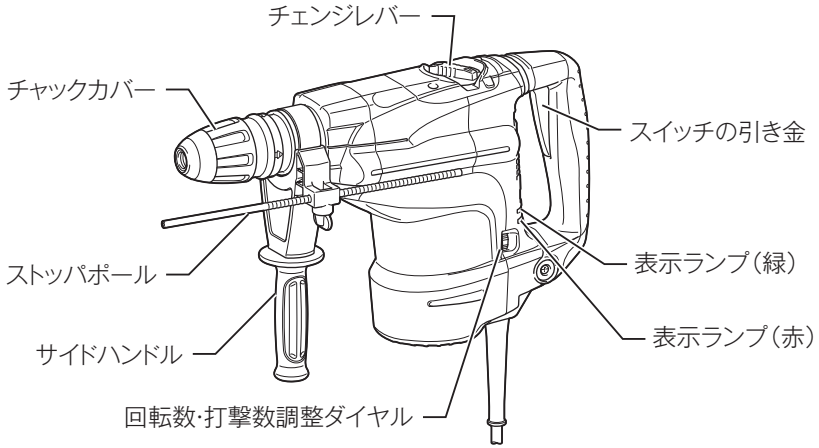
⚠ 警告

1. 耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音用保護具を着用してください。
   - 騒音にさらされ難聴の原因になります。
2. 付属の補助ハンドルを使い、本製品を両手でしっかり握ってください。
   - 振り回され、けがの原因になります。
3. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
   - 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
4. 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。また、絶縁されたハンドルだけを握ってください。
   - 埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
5. 使用中は、ビットなどの工具類や回転部、切粉などの排出物に手や顔などを近づけないでください。
   - けがの原因になります。
6. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
   - そのまま使用していると、けがの原因になります。
7. 誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、ビットなどの工具類や本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
   - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠注意

1. 工具類（ビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
3. 作業中はヘルメット、安全靴を着用してください。
4. 作業直後の工具類や切粉は大変熱くなっていますので、触れないでください。
・ やけどの原因になります。
5. 高所作業のときは､下に人がいないことをよく確かめてください｡また､コードを引っかけたりしないでください。
・ 材料や本製品などを落としたときなど、事故の原因になります。
6. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
・ けがの原因になります。
7. 作業中にビットが食いついた場合、無理に本製品を引き抜かないでください。
・ 体勢が不安定になり転倒など、けがの原因になります。
・ ビットは刺さったまま放置しないでください。
8. 作業時は、被削材を確実に固定してください。
・ 被削材が飛ぶなど、けがの原因になります。
9. 気温が低いとき、あるいは長時間使用しなかったときに、グリスが固くなりモータが回転しても打撃しない場合があります。このような場合には数分間空転し、本製品が温まってからご使用ください。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

・ ストッパポール

・ ビット用グリス（100 g）

・ プラスチックケース

別販売品のご紹介

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

超硬ドリル
4 × ＝刃先 4 枚付

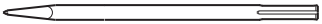
径（mm）	部品番号	全長（mm）	最大穿孔深さ(mm)
10	A-17382	305	165
10.5	A-17398		
11	A-17407		
12	A-17413		
12.5	A-17429		
12.7	A-17435		
13.5	A-17441		
14.3	A-17457		
14.5	A-17463		
16	A-17479		
16.5	A-19233		
17	A-17485		
17.5	A-17491		
18	A-17500		
19	A-17516		
20	A-17522	285	
21.5	A-17538		
22	A-17544		
25（4X）	A-17550	320	200
28（4X）	A-17566	370	250
32（4X）	A-17572		
35（4X）	A-17588		
38（4X）	A-17594		
40（4X）	A-30455		

別販売品のご紹介

超硬ドリル
4 × ＝刃先 4 枚付

径（mm）	部品番号	全長（mm）	最大穿孔深さ(mm)
16（4X）	A-19392	540	400
17.5（4X）	A-19401		
18（4X）	A-19417		
19（4X）	A-19423		
20（4X）	A-19439		420
21.5（4X）	A-19445		
22（4X）	A-19451		
24（4X）	A-19467		
25（4X）	A-19473		
26（4X）	A-19489		
28（4X）	A-19495		
30（4X）	A-19504		
32（4X）	A-19510		
35（4X）	A-19526		
38（4X）	A-19532		
40（4X）	A-30461	570	450

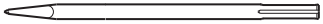
ブルポイント
ハツリ、破砕用



全長（mm）	部品番号
280	A-17326
600	A-87476
400	A-17332
スーパーブルポイント 太径、重作業用	
400	A-33146

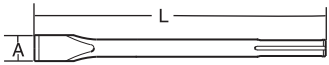
別販売品のご紹介

パワーブルポイント
ハイス鋼を刃先に使用



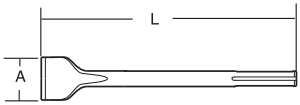
全長（mm）	部品番号
240	A-41408
280	A-41414

コールドチゼル
溝切り、角出し、研削用



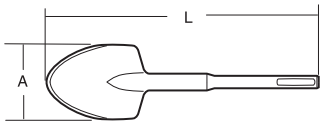
寸法（A × L mm）	部品番号
25 × 280	A-17348
25 × 400	A-17354

スケーリングチゼル
溝つき用



寸法（A × L mm）	部品番号
50 × 400	A-17360

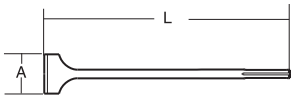
スコップ
土掘り用



寸法（A × L mm）	部品番号
105 × 400	A-17653

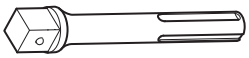
別販売品のご紹介

タイルチゼル
タイル剥がし用



寸法（A × L mm）	部品番号
50 × 300	A-17376

ケミカルアンカアダプタ

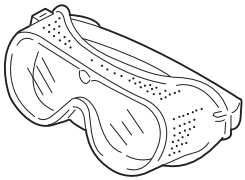


角ドライブ(mm)sq	部品番号
12.7	A-19847
19	A-19853

パーカッションコア コンクリートの大径穴あけ用				センターピン 穴あけ位置決め用	アダプタ
外径(mm)	部品番号	全長(mm)	最大穿孔深さ(mm)	部品番号	部品番号
32	A-49454	155	315	A-49426	A-50108
38	A-49460				
40	A-49476			A-49432	A-50114
45	A-49482				
50	A-49498				
55	A-49410				
65	A-49507				
105	A-49529				
120	A-49535				

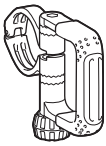
別販売品のご紹介

・ セフティゴーグル（保護メガネ）
部品番号：191686-2

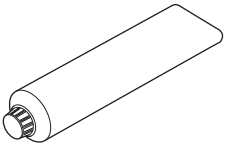


・ ハンマ用グリス（30 g）
部品番号：A-42999

・ サイドハンドル（ハツリ・破砕作業用）
部品番号：134890-0



・ ビット用グリス（100 g）
部品番号：A-43000



・ 集じんアタッチメントセット品
部品番号：195741-2（穴あけ用、ハツリ用）
部品番号：196567-5（ハツリ用）

ビットの取り付け・取りはずし方

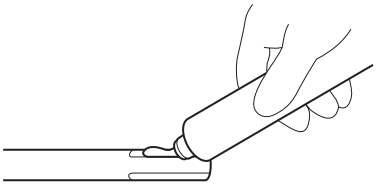
⚠ 警告

ビットの取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

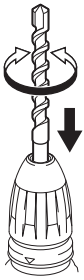
・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行うと事故の原因になります。

取り付け方

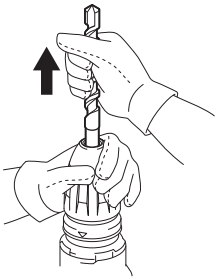
・ ビットのチャック部は常にきれいにし、付属のビット用グリスを塗布してください。



・ ビットを差し込んでください。ビットを回しながら位置を合わせ、奥まで差し込んでください。

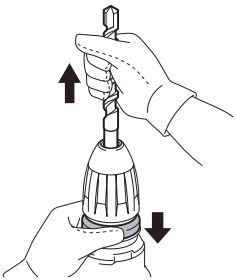


・ ビットを引っ張って抜けないことを確認してください。



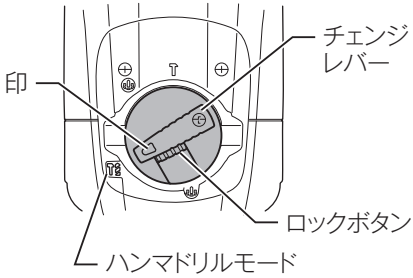
取りはずし方

・ リリースカバーをいっぱいまで引いて、ビットを引き抜いてください。

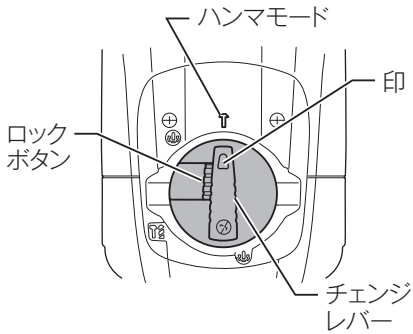


チェンジレバーの操作

・ 穴あけ作業：ハンマドリルモード（回転＋打撃）
チェンジレバーの△を ハンマドリルモードにセットしてください。先端工具は超硬ドリルなどをお使いください。



・ ハツリ・破砕作業：ハンマモード（打撃）
チェンジレバーの△を ハンマモードにセットしてください。先端工具はブルポイントなどをお使いください。



注

・ チェンジレバーの切り替えは停止のときに行ってください。
・ チェンジレバーはロックする位置に確実に切り替えてください。途中の位置で使用されますと切替機構の寿命を縮める恐れがあります。

ビットの角度の決め方（ハツリ・破砕をする場合）

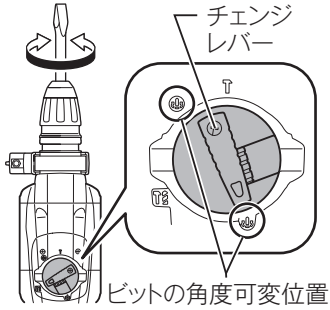
⚠ 警告

ビットの角度を決める際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

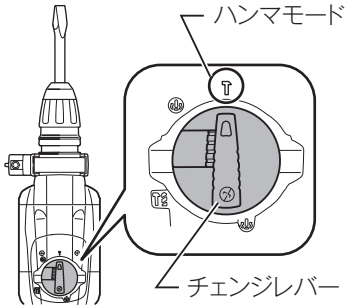
・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行うと事故の原因になります。

・ 16 段階の角度で固定できます。

1. チェンジレバーの⌂を⌂または⌂のビットの角度可変位置にセットしてください。ビットを回して角度を決めてください。



2. チェンジレバーの⌂を T ハンマモードにセットしてください。ビットを少し回して固定されていることを確認してください。



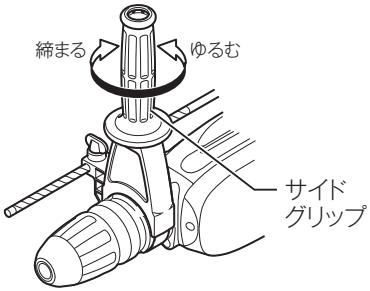
サイドグリップについて（穴あけ、ハツリ・破砕作業兼用）

⚠警告

穴あけをされる場合、コンクリート壁の貫通時や鉄筋などに刃先が接触した場合に、本製品が反動で回ることがありますので、サイドグリップをしっかり固定し本製品を両手で確実に保持してください。

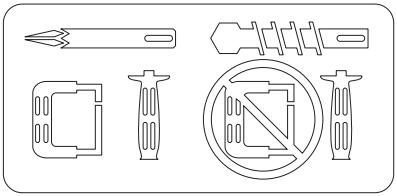
・ 確実に保持していないと、事故の原因になります。

・ サイドグリップの位置を変えたいときは、左へ回すとゆるみますので、作業のしやすい位置にしっかり固定してください。なお、ストッパポールを使用しますと、本製品とストッパポールがあたって、サイドグリップが回らない位置もあります。



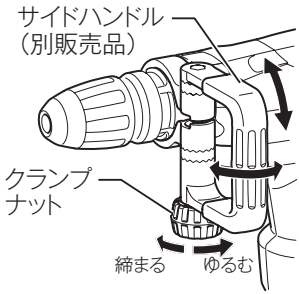
サイドハンドル（別販売品）について（ハツリ・破砕作業用）

⚠警告



サイドハンドル（ハツリ・破砕作業用）は穴あけ作業には使用しないでください。もし穴あけ作業に使用すると、本製品を確実に保持することができず、事故の原因となります。

・ サイドハンドルは本製品に対して垂直に 360° 回転させることができます。
・ サイドハンドルは前方向、後ろ方向に 8 段階調整ができます。
・ いずれの場合も、クランプナットをゆるめると調整できますので、作業しやすい位置に動かし、クランプナットをしっかりしめつけて固定してください。



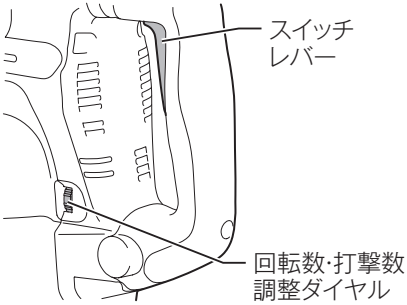
スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし事故の原因になります。

・ スイッチはスイッチレバーを引くと入り、離すと切れます。



回転数・打撃数調整ダイヤルの操作

・ 作業内容により回転数・打撃数を無段階に調整することができます。
・ 数字が大きくなるほど回転数・打撃数が多くなります。

回転数・打撃数の目安

回転数・打撃数調整ダイヤル	回転数 / 分	打撃数 / 分
5	280	2,750
4	260	2,550
3	200	1,950
2	150	1,450
1	130	1,250

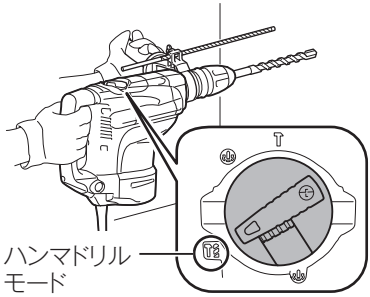
穴あけ方法

⚠ 警告

コンクリート壁の貫通時や鉄筋などに刃先が接触した場合に、本製品が反動で回ることがありますので、サイドグリップをしっかり固定し本製品を両手で確実に保持してください。

・ 確実に保持していないと、事故の原因になります。

1. チェンジレバーの△をハンマドリルモードにセットしてください。
2. 穴あけ位置にドリルビットの先端を当ててからスイッチレバーを引きます。
3. 本製品が浮き上がらない程度に軽く押し付けて作業してください。無理に押さえつけても作業能率は上がりません。
4. 深い穴で粉じんがつまりやすいときは、超硬ドリルを回転させながら大きく前後させ粉じんを排出させてください。



トルクリミッタについて

・ ビットに所定のトルクがかかると、トルクリミッタが作動し、ビットにモータの回転が伝わらない構造となっています。
・ トルクリミッタが作動したときは、スイッチレバーを戻せば通常の作動できる状態に戻ります。

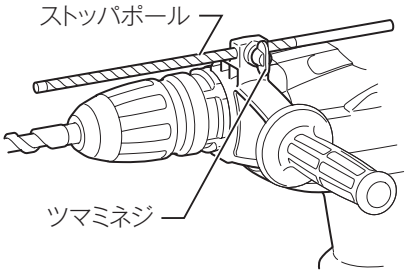
注

・ **トルクリミッタが作動したときは、すぐにスイッチを切ってください。**

ストッパポールの使い方

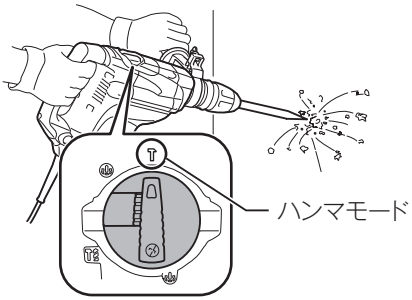
・ 同じ深さの穴をたくさんあけたいときにお使いになると便利です。

・ ツマミネジをゆるめ、お望みの長さにストッパポールを調整してください。調整後は、ツマミネジをしっかりと締め付けて固定してください。



ハツリ・破砕方法

1. チェンジレバーの△を T ハンマモードにセットしてください。
2. ハツリ・破砕は本製品を無理に押しつけても決して作業能率は上がりません。
   本製品が浮き上がらない程度に押えて作業してください。

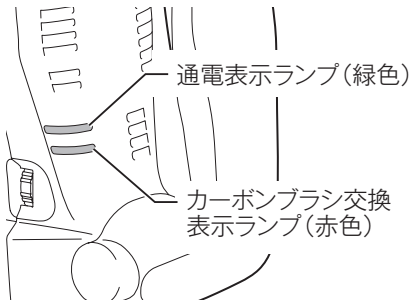


保守・点検について

表示ランプについて

通電表示ランプ（緑色）

・ 電源プラグを電源コンセントにつなぐと通電表示ランプ（緑色）が点灯します。



・ 次のような症状が出た場合には、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。

	症状	原因
①	電源プラグを電源コンセントにつないでも通電表示ランプ（緑色）が点灯しない。	電源コードあるいはコントローラの故障です。
②	通電表示ランプ（緑色）は点灯しているがスイッチを入れても作動しない。	カーボンブラシの寿命、コントローラ、モータあるいはスイッチの故障です。

カーボンブラシ交換表示ランプ（赤色）

・ カーボンブラシの寿命が近づくと点滅します。電源プラグを電源コンセントから抜くまで点滅しつづけます。
・ カーボンブラシの交換と同時に本製品の保守・点検を行ってください。

保守・点検について

⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行うと、感電や事故の原因になります。

グリスの交換

・ 本製品はグリス密封式のため常時補給する必要はありません。しかし、本製品を長持ちさせるために定期的にグリスの交換をしてください。その際は、ご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

本製品のお手入れ

・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

・ **ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。**

ご修理の際は

・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

メモ

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）

881A74B4
IWT